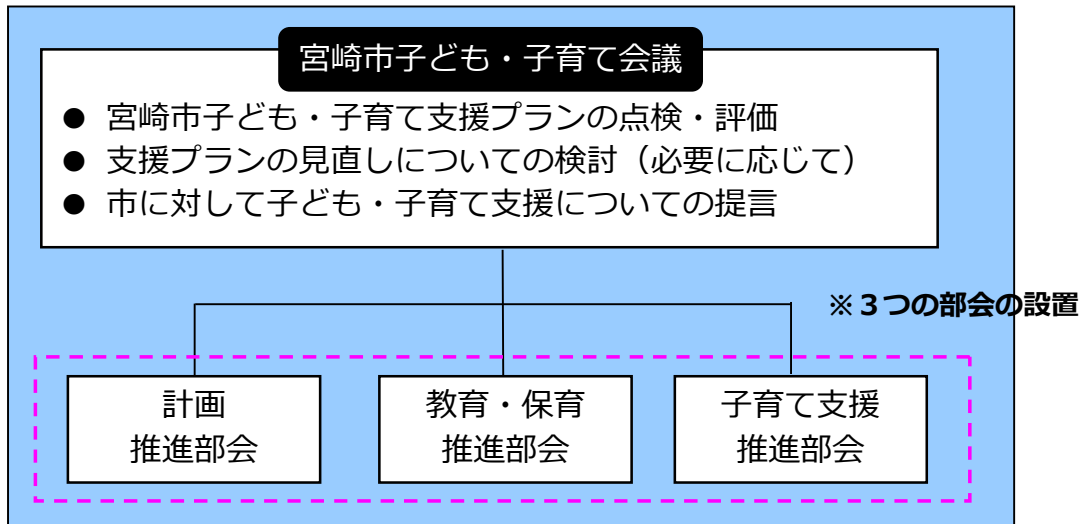


宮崎市子ども・子育て支援プランの点検及び評価について

1 点検及び評価について

平成 28 年度から宮崎市子ども・子育て支援プランの点検・評価を行うにあたり、特定の分野を専門的に審議するために、子ども・子育て会議に部会を設置している。



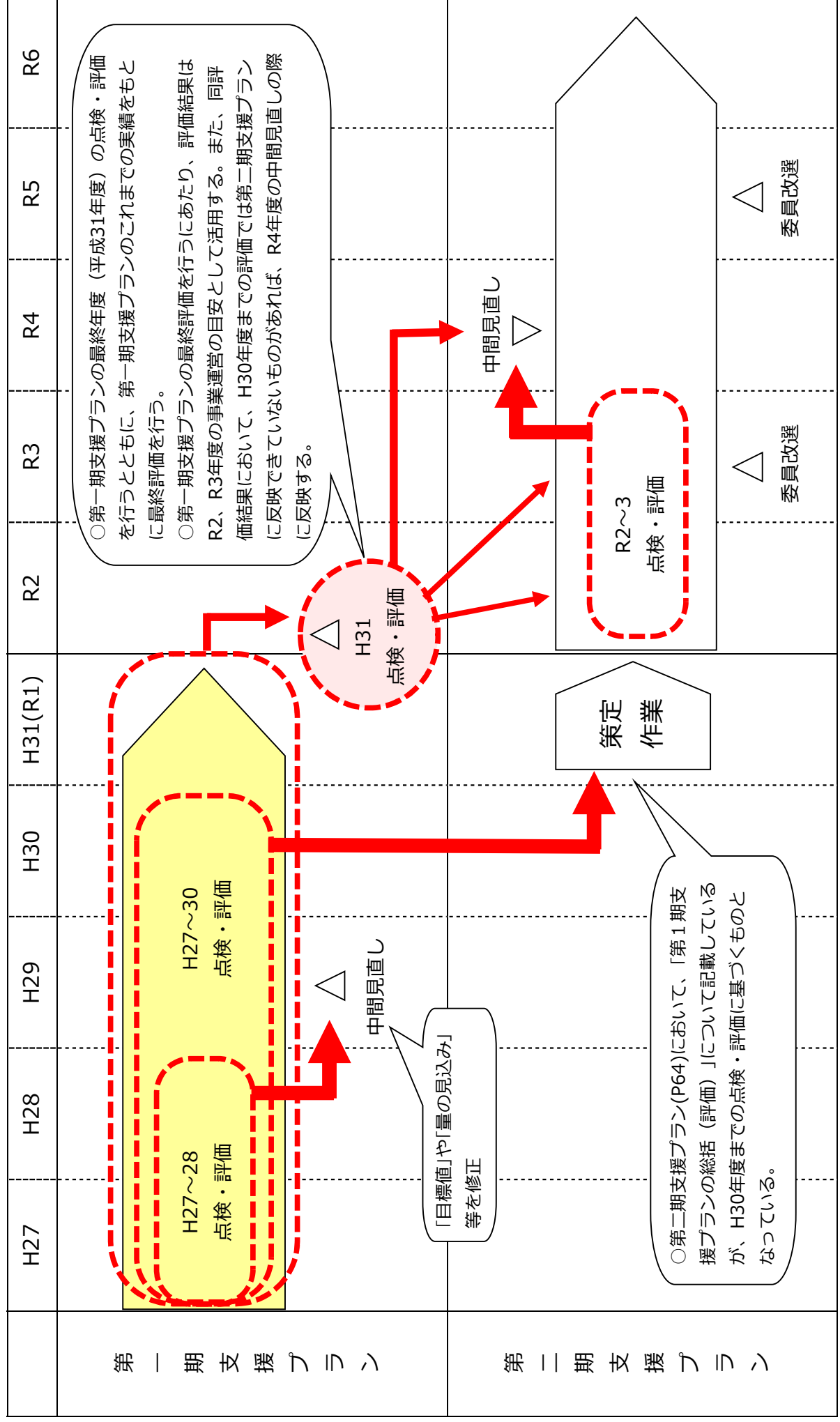
2 今回の点検及び評価の位置付け

「第一期支援プラン」については、平成 31（令和元）年度で計画期間が終了し、令和 2 年 3 月、新たに「第二期支援プラン」（計画期間：令和 2～6 年度）を策定したところである。

第二期支援プランの策定にあたり、平成 30 年度までの点検・評価をもとに第一期支援プランの総括を行ったところ（第二期支援プラン P64 参照）だが、今回の点検及び評価の位置付けについては、以下のとおりとする。

- 第一期支援プランの最終年度（平成 31 年度）の点検・評価を行うとともに、第一期支援プランのこれまでの実績をもとに最終評価を行う。
- 評価結果は、令和 2, 3 年度の事業運営の目安として活用する。また、同評価結果において、平成 30 年度までの評価では第二期支援プランに反映できていないものがあれば、令和 4 年度の間見直しの際に反映する。（P 2 参照）

令和2年度子ども・子育て会議専門部会での点検・評価の考え方について



3 部会の種類と点検・評価の項目

(1) 計画推進部会

子ども・子育て支援プラン（次世代育成支援行動計画、母子保健計画）に関する検討を行う。主に、10 の推進施策についての点検・評価を行う。

【点検・評価】

①10 の推進施策の目標値（関係課照会）

○目標値の達成状況について

最終目標値（平成 31 年度）と実績に乖離がある場合は、その理由の分析と第二期支援プランへの反映状況や今後の対応方策について整理すること

②10 の推進施策に関連する各種事業や取り組みの進捗状況（関係課照会）

○各種事業や取り組みの進捗状況について

各種事業や取り組みに遅滞等がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

③第一期支援プランの最終評価

(2) 教育・保育推進部会

子ども・子育て支援プラン（子ども・子育て支援事業計画）における子ども・子育て支援給付に関する検討を行う。

【点検・評価】

①本市における教育・保育の量の見込み及びその提供体制の確保方策

○確保方策の進捗状況について

支援プランと実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

②第一期支援プランの最終評価

(3) 子育て支援推進部会

子ども・子育て支援プラン（子ども・子育て支援事業計画）における地域子ども・子育て支援事業に関する検討を行う。

【点検・評価】

①本市における地域子ども・子育て支援事業（11 事業）に係る量の見込み及び提供体制の確保方策（関係課照会）

○確保方策の進捗状況について

支援プランと実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

②第一期支援プランの最終評価

【参考】点検及び評価に係る考え方

※内閣府の取扱い（平成27年3月19日子ども・子育て会議資料2より抜粋）

○点検及び評価の内容（例）

- ・ 事業ごとの「確保方策」の進捗状況。計画と実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策の検討
- ・ 計画の「量の見込み」と実際のニーズの乖離。乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策の検討
- ・ 質の向上の進捗状況（指標例：質の向上項目の実施状況）
- ・ 計画を実施するために必要な財源の確保状況等
- ・ 計画全体の成果（アウトカム）（指標例：子育て支援全般についての住民満足度）

○点検及び評価の方法

①地方版子ども・子育て会議の活用

地方版子ども・子育て会議には、事業計画策定の審議を行うとともに、継続的に点検・評価・見直しを行っていく役割が期待されている。

②その他

適宜、利用者・事業者等に対するヒアリングやアンケート調査等を併用することとも考えられる。

※宮崎市子ども・子育て支援プラン上の取扱い（第1期支援プランP4より抜粋）

4 計画の期間

支援プランの計画期間は、平成27年度を初年度とし、平成31年度までの5年間を一期として策定します。

また、計画期間の各年度において、施策の実施状況や事業実績等について点検・評価し、必要に応じて支援プランの見直しを行います。